

青山水源事務所旧館の利活用についての
サウンディング調査（対話）実施結果

1 対話実施日

令和5年8月21日（月）

2 参加事業者

1 事業者（不動産業）

3 対話の概要

(1) 青山水源事務所旧館に対する評価

- ・ 古民家風の建物は風情があり、きれいな水辺を望む景色には開放感がある。
- ・ 人が集う場所として利用する場合、すべての空間がワンフロアでつながる平屋ならではの特徴により、活発なコミュニケーションが図れる環境となる。また、一団体の貸切りとすることで、利用者の一体感を醸成しやすい空間となる。

(2) 提案された用途

- ・ サテライトオフィス（宿泊施設としても想定）

民間企業をターゲットとして、一泊二日、または日帰りで業務を行える非日常的な環境を青山水源事務所旧館にて提供する。

※サテライトオフィスとは、本社など企業・団体の中心的な拠点から離れて仕事に従事する場所のこと。衛星（サテライト）のように本拠から離れているオフィスという意味。

(3) 市への主な要望

- ・ 前提条件（※）に「耐震化工事及び修繕工事は、事業者で実施してください」とあるが、採算が合う事業を実現するために、建築物の躯体、配管等に対する初期投資を市に負担していただきたい。
- ・ 前提条件（※）に「敷地境に高さ2.0m以上のフェンス等の設置が必要」とあるが、きれいな水辺が望めて開放感があることに青山水源事務所旧館の価値があるため、景観を損なうことなく事業を展開できる方法について検討していただきたい。

※市が提示している「青山水源事務所旧館の利活用についてのサウンディング調査（対話）実施要領」に記載の前提条件